

新入職員46名が「認知症サポーター養成講座」を受講 ～ 認知症サポーターの資格者が650名に ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は1月18日（木）、
「認知症サポーター養成講座」を開催し、新入職員46名が受講しました。この
講座は、認知症の方やその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する
もので、平成23年から開催しています。

受講者は、ATMコーナー等でのお客さまへの適切なお声掛けについて意見を
出し合ったほか、認知症の方やそのご家族の立場を慮って行動することの大切さ
を学びました。受講後、認知症サポーターの証として「認知症サポーターカード」
と「ピンバッジ」が授与されました。当金庫の認知症サポーター資格者は、今回
の受講者を含め650名となりました。

当金庫は今後とも、同サポーターを養成し、お客さまがより気持ちよくご利用
いただける環境を整え、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してま
いります。

記

1. 認知症サポーター養成講座

- (1) 開催日 令和6年1月18日（木）
- (2) 場 所 本店10階研修室
- (3) 参加者数 新入職員46名
- (4) 講 師 大阪市認知症介護指導者 今堀 富美代 氏

2. 認知症サポーターについて

認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守り支え
ていく応援者です。厚生労働省では認知症サポーターの養成に取り組ん
でおり、その人数は令和5年9月末現在、全国で約1,482万人となっ
ています。



講座の様子



講師：今堀 富美代 氏

以 上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組み
のうち、右記の目標に寄与するものです。

